

議案第16号

2026年度豊岡市教育委員会の点検・評価報告書の決定について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による2026年度豊岡市教育委員会の点検・評価報告書について、別添のとおり決定する。

令和8年6月25日提出

豊岡市教育委員会
教育長 能 登 琢 也

2026年度

教育委員会の点検・評価報告書（案）

（2025年度事業分）

2026年 6 月

豊岡市教育委員会

目 次

I	教育委員会活動等の点検・評価について	1
II	教育委員会会議及び教育委員の活動	3
	1 教育委員会の概要	
	2 教育委員会会議の開催状況	
	3 教育委員会会議以外の活動状況	
	4 教育委員活動のまとめ	
III	教育委員会施策の点検・評価	17
	・ 第5次とよおか教育プラン2025年度実践計画の検証について	
	・ 第5次とよおか教育プラン2025年度実践計画 施策・取組一覧	
	・ 第5次とよおか教育プラン2025年度実践計画 検証総括シート	
	【基本方針 1 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進】	
	基本的方向 1 多様性の尊重と包摂性のある教育の推進	
	基本的方向 2 「確かな学力」の育成	
	基本的方向 3 「豊かな心」の育成	
	基本的方向 4 「健やかな体」の育成	
	基本的方向 5 「生きる力の基礎」の育成	
	【基本方針 2 自分らしく安心して過ごせる学校園の創造と家庭・地域等との共創】	
	基本的方向 1 学校園・家庭・地域等の連携・協働の推進	
	基本的方向 2 安全・安心な教育の推進と教育環境の整備	
	基本的方向 3 教職員の資質・能力の向上	
	基本的方向 4 学校園の組織力の強化	
IV	外部有識者の総評	42

I 教育委員会活動等の点検・評価について

1 趣 旨

豊岡市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、2008年度から教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行っています。

本年度も法の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすため、2025年度の教育施策の実施状況について点検及び評価を行いました。

この点検・評価の結果を踏まえ、今後の教育行政施策の改善や見直しに努めるとともに、教育環境の整備・充実に努めてまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

■参考■

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 実施方法

豊岡市教育委員会活動の実績報告と「第5次とよおか教育プラン（2025年2月策定）」を基に策定した「2025年度実践計画（2025年3月策定）」に位置付けた施策・取組について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、市ホームページへの掲載等により公表します。

3 教育委員会活動等の点検・評価の方法

(1) 教育委員会会議及び教育委員の活動

毎月定例的に開催される教育委員会会議の開催状況、審査議案、報告事項、さらに学校訪問をはじめとする教育関係施設や各種事業の視察、委員研修、大会への参加状況等を記載しています。

(2) 教育委員会施策の点検・評価

点検・評価する事業は、第5次とよおか教育プラン2025年度実践計画に位置付けた検証を実施する重点項目の施策・取組を対象としており、豊岡市社会教育推進委員会で意見聴取をする取組については、対象外としています。

点検・評価の方法は、学校現場及び各担当課による自己検証のほか、検証委員会による外部検証を行うとともに、年度末において教育委員会による最終検証を行いました。

(3) 外部有識者の総評

点検及び評価にあたり、点検評価の客観性を確保するとともに、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、外部評価を依頼し、教育委員会が実施した事業について、公正・的確な意見を述べていただくこととしました。

外部評価は、第5次とよおか教育プランの推進など、豊岡の教育行政に深く携わっていただいている兵庫教育大学大学院学校教育研究科准教授の安藤福光氏にお願いしました。

Ⅱ 教育委員会会議及び 教育委員の活動

1 教育委員会の概要

教育委員会は、首長から独立した行政委員会として、全ての都道府県及び市町村に設置されており、教育行政における重要事項や方針を決定し、教育長が具体的な事務を執行しています。

豊岡市教育委員会は、教育長と4人の委員をもって組織され、地方における教育行政の中心的な担い手としてその役割を果たすことが求められています。

豊岡市教育委員会委員名簿 (2025年度)

職名	氏名	任期
教育長	嶋 公 治	2023年5月17日～2026年5月16日
委員 (教育長職務代理者)	飯 田 正 巳	2022年5月17日～2026年5月16日 (教育長職務代理者 2024年5月17日～)
委 員	升 田 敏 行	2023年5月17日～2027年5月16日
	鈴 木 千 佳	2024年5月17日～2028年5月16日
	島 崎 栄 子	2025年5月17日～2029年5月16日

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を、緊急的な協議議題等があれば必要に応じて「教育委員会臨時会」を開催することとしており、教育行政の基本方針や重要施策等を決定しています。

2025年度は14回の会議を開催し、人事案件や規則、予算案など合計56件の議案について審議を行うとともに、37件の報告・協議を行い、教育行政の方針等を決定しました。

- ◆教育委員会定例会 12回
- ◆教育委員会臨時会 2回 合計14回

【議案審議内容】

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関する事 | 7件 |
| (2) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事 | 22件 |
| (3) 職員（教職員を含む）の人事に関する事 | 2件 |
| (4) 法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱に関する事 | 5件 |
| (5) 教育予算に関する事 | 7件 |
| (6) 教育財産の取得・用途廃止、所管換等に関する事 | 4件 |
| (7) その他（要綱の制定及び改廃、附属機関以外の委員の委嘱など） | 9件 |

● 教育委員会会議開催状況

会議区分	開催日	開催場所
第1回定例会	2025年4月21日(月)	本庁舎 庁議室
第2回定例会	2025年5月19日(月)	本庁舎 第3委員会室
第3回定例会	2025年6月26日(木)	本庁舎 第3委員会室
第4回定例会	2025年7月24日(木)	本庁舎 庁議室
第5回定例会	2025年8月18日(月)	日高庁舎 会議室2-1
第6回定例会	2025年9月19日(金)	本庁舎 大会議室
第7回定例会	2025年10月23日(木)	城崎庁舎 大会議室
第8回定例会	2025年11月20日(木)	本庁舎 庁議室
第9回定例会	2025年12月19日(金)	本庁舎 庁議室
第10回定例会	2026年1月22日(木)	本庁舎 庁議室
第11回定例会	2026年2月16日(月)	本庁舎 庁議室
臨時会	2026年2月19日(木)	本庁舎 教育長室
臨時会	2026年2月26日(木)	本庁舎 教育長室
第12回定例会	2026年3月26日(木)	本庁舎 庁議室

● 2025年度 教育委員会会議審議案件等一覧

第1回定例会 2025年4月21日(月)	
審議案件	
議案第1号	豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について…可決
議案第2号	豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について…可決
議案第3号	豊岡市学校運営協議会委員の任命について…可決
報告案件	
報告第1号	寄附物件の受納について

第2回定例会 2025年5月19日(月)

審議案件

議案第4号	豊岡市学校運営協議会委員の任命について…可決
議案第5号	豊岡市教育支援委員会委員の任命について…可決
議案第6号	豊岡市学校評議員の委嘱について…可決
議案第7号	豊岡市立小学校及び中学校の設置に関する条例及び豊岡市立学校施設の使用料の徴収に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について…承認
議案第8号	令和7年度6月補正教育関係予算案に関する意見について…承認
議案第9号	物件購入契約の締結に関する意見について…承認
議案第10号	とよおか教育プラン実践計画検証委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について…可決

報告案件

報告第2号	豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について
報告第3号	豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について(豊岡市青少年健全育成地区会議連絡会補助金)
報告第4号	豊岡市フリースクール等利用者支援補助金交付要綱の制定について
報告第5号	寄附物件の受納について

第3回定例会 2025年6月26日(木)

審議案件

議案第11号	教育長の営利企業等への従事について…可決
議案第12号	豊岡市立図書館協議会委員の任命について…可決
議案第13号	豊岡市いじめ防止対策委員会委員の任命について…可決
議案第14号	豊岡市奨学生の選考について…決定
議案第15号	2025年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について…決定

報告案件

報告第6号	豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について(豊岡市認可保育所等運営支援事業補助金)
報告第7号	豊岡市フリースクール等利用者支援補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
報告第8号	寄附物件の受納について
報告第9号	令和7年6月市議会答弁概要について

第4回定例会		2025年7月24日（木）
審議案件		
議案第16号	豊岡市青少年補導委員の任命について…可決	
報告案件		
報告第10号	豊岡市フリースクール等民間施設運営支援補助金交付要綱の制定について	
報告第11号	寄附物件の受納について	

第5回定例会		2025年8月18日（月）
審議案件		
議案第17号	令和7年度9月補正教育関係予算案に関する意見について…承認	
議案第18号	物件購入契約の締結に関する意見について…承認	
議案第19号	令和8年度使用教科用図書の採択について…決定	
報告案件		
報告第12号	専決処分したものの報告について（損害賠償の額を定めることについて）	
報告第13号	寄附物件の受納について	

第6回定例会		2025年9月19日（金）
報告案件		
報告第14号	寄附物件の受納について	
報告第15号	令和7年9月市議会答弁概要について	

第7回定例会		2025年10月23日（木）
審議案件		
議案第20号	豊岡市教育委員会職名規則及び豊岡市教育委員会事務局等組織規則の一部を改正する規則制定について…可決	
議案第21号	豊岡市教育委員会の権限に関する事務の補助執行に関する規程の一部を改正する訓令制定について…可決	
報告案件		
報告第16号	寄附物件の受納について	

第8回定例会 2025年11月20日(木)

審議案件

議案第22号	豊岡市立小学校、中学校及び義務教育学校の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について…承認
議案第23号	豊岡市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について…承認
議案第24号	豊岡市立放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について…承認
議案第25号	豊岡市乳児等通園支援事業の設置及び運営に関する基準を定める条例制定について…承認
議案第26号	令和7年度12月補正教育関係予算案に関する意見について…承認
議案第27号	豊岡市奨学金規則の一部を改正する規則制定について…可決
議案第28号	豊岡市交通遺児奨学金規則の一部を改正する規則制定について…可決

報告案件

報告第17号	専決処分したものの承認を求めることについて(損害賠償の額を定めることについて)
報告第18号	とよおか教育プラン2025年度実践計画中間検証結果について
報告第19号	寄附物件の受納について

第9回定例会 2025年12月19日(金)

審議案件

議案第29号	令和7年度12月補正(第7号)教育関係予算案に関する意見について…承認
議案第30号	教育財産の用途廃止について(竹野学園(前期課程))…可決
議案第31号	教育財産の用途廃止について(城崎中学校)…可決

報告案件

報告第20号	寄附物件の受納について
報告第21号	令和7年12月市議会答弁概要について
報告第22号	とよおか教育プラン2026年度実践計画策定の進め方について
報告第23号	豊岡市立図書館本館の臨時休館について

第 10 回定例会 2026 年 1 月 22 日 (木)	
審議案件	
議案第 32 号	令和 7 年度 2 月補正 (第 9 号) 教育関係予算案について…承認
議案第 33 号	豊岡市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則制定について…可決
議案第 34 号	豊岡市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について…可決
報告案件	
報告第 24 号	豊岡市立図書館の減免及び還付に関する規則の一部を改正する規則制定について
報告第 25 号	寄附物件の受納について
報告第 26 号	2026 年度豊岡市奨学生の募集について

第 11 回定例会 2026 年 2 月 16 日 (月)	
審議案件	
議案第 35 号	教育長の営利企業等への従事について…可決
議案第 36 号	豊岡市立保育所の設置及び管理に関する条例及び豊岡市立認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について…承認
議案第 37 号	豊岡市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について…承認
議案第 38 号	令和 7 年度 3 月補正 (第 11 号) 教育関係予算案について…承認
議案第 39 号	令和 8 年度当初教育関係予算案について…承認
議案第 40 号	2026 年度教育行政の方針と施策の展開について…承認
議案第 41 号	豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の見直しについて…承認
議案第 42 号	行政不服審査請求に係る裁決について…承認
議案第 43 号	豊岡市教育委員会事務局等組織規則の一部を改正する規則制定について…可決
議案第 44 号	豊岡市立小学校、中学校及び義務教育学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について…可決
議案第 45 号	豊岡市立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則制定について…可決
議案第 46 号	豊岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定について…可決
議案第 47 号	豊岡市通学用バス運行管理規則の一部を改正する規則制定について…可決
報告案件	
報告第 27 号	豊岡市長の権限に関する事務の補助執行に関する規程の一部を改正する訓令制定について
報告第 28 号	国立大学法人兵庫教育大学との連携協力に関する協定締結について
報告第 29 号	寄附物件の受納について

臨時会 2026年2月19日(木)	
審議案件	
議案第48号	豊岡市立学校教職員(管理職)の人事(内申)について…承認

臨時会 2026年2月26日(木)	
審議案件	
議案第49号	豊岡市立学校教職員(一般)の人事(内申)について…承認

第12回定例会 2026年3月26日(木)	
審議案件	
議案第50号	豊岡市青少年補導委員の任命について…可決
議案第51号	豊岡市教育委員会の事務局及び教育機関の職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令制定について…可決
議案第52号	豊岡市社会教育・生涯学習人材バンク運営事業実施要綱制定について…可決
議案第53号	教育財産の用途廃止について(小野小学校)…可決
議案第54号	教育財産の用途廃止について(中筋小学校敷地及びプール付属棟)…可決
議案第55号	第5次とよおか教育プラン2026年度実践計画の策定について…承認
議案第56号	豊岡市教育委員会保有個人情報安全管理規定の一部を改正する訓令制定について…可決
報告案件	
報告第30号	豊岡市乳児等通園支援事業の認可等に関する規則制定について
報告第31号	豊岡市立保育所の設置及び管理に関する条例施行規則及び豊岡市立認定こども園の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について
報告第32号	豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について(豊岡市物価高騰対策支援給付金)
報告第33号	教育長が臨時に代理した工事請負契約の締結について承認を求めることについて
報告第34号	教育長が臨時に代理した教育財産の用途廃止について承認を求めることについて(竹野認定こども園)
報告第35号	教育長が臨時に代理した令和7年度2月補正(第10号)教育関係予算について承認を求めることについて
報告第36号	寄附物件の受納について
報告第37号	令和8年3月市議会答弁概要について

3 教育委員会会議以外の活動状況

(1) 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、2015年度から地方公共団体の長と教育委員会で構成する総合教育会議の設置が義務付けられました。

これを受けて、次のとおり会議を開催しました。

ア 第1回総合教育会議

- ・日 時 2025年5月26日(月) 午後3時から午後5時
- ・場 所 本庁舎 庁議室
- ・内 容 (1) 大綱の策定について
第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)
- (2) 部活動の地域展開の進捗と今後のスケジュールについて

イ 第2回総合教育会議

- ・日 時 2025年10月16日(木) 午前10時から午後0時
- ・場 所 本庁舎 庁議室
- ・内 容 (1) 入学準備金貸付制度について
- (2) 学校グラウンドの芝生について
- (3) 情報教育の現状について

(2) 教育委員会会議以外の活動状況一覧

月	学校訪問・学校園行事	視察、研修会、各種委員会	その他行事等
4	教職員辞令交付式 校園長会挨拶 小・中学校入学式 幼稚園・認定こども園 入園式 竹野学園開校式	教育委員協議会（とよおか教育プラン実践 計画検証）	
5	校園長会挨拶（新任教 育委員）	教育委員学習会（総合教育会議） 第1回総合教育会議 兵庫県市町村教育委員会連合会総会・研修 会	但馬小学校長会研修会
6	トライやるウィーク・ 自然学校視察 演劇ワークショップ	豊岡市奨学生選考委員会 豊岡市要保護児童対策協議会代表者会議	「植村直己冒険賞」授 賞式・記念講演会
7	学校園訪問 （府中小、港中、港認 定、合橋認定こども 園）	但馬教育委員連合会理事会・総会・研修会 園小接続研修会 教育委員意見交換会	
8	放課後児童クラブ訪問	豊岡市民生委員推薦会 全県夏季教育委員会研修会 但馬教育塔合祀祭 豊岡市教育フォーラム 教育委員学習会（日高地域）	
9	認定こども園・小学校 運動会		
10	学校園訪問 （八条小、新田小、神 美小、八代小、小野 小、但東中） 放課後児童クラブ訪問 認定こども園・小学校 運動会 中学校体育祭	教育委員学習会（総合教育会議） 第2回総合教育会議 近畿市町村教育委員会研修大会（オンライ ン） 教育委員学習会（港地区・城崎地域）	

月	学校訪問・学校園行事	視察、研修会、各種委員会	その他行事等
11	学校園訪問 (竹野学園、中筋小、合橋小、五荘奈佐幼稚園、西保育園)	新任教育委員研修会 豊岡市進学対策協議会 豊岡市要保護児童対策協議会講演会 教育委員会行政視察(生野学園中学校、但馬やまびこの郷)	豊岡市政 20 周年記念式典 豊岡市美術展表彰式 出石町青少年健全育成推進大会
12	竹野学園内覧会	但馬教育委員会連合会教育委員研修会	
1	演劇的手法を取り入れた授業に係る研修会	豊岡市民生委員推薦会	豊岡市はたちを祝う会
2	まなびの公開保育 演劇ワークショップ		豊岡市部活動の在り方検討委員会
3	小・中・義務教育学校(後期課程)卒業式 義務教育学校(前期課程)修了式 幼稚園・認定こども園卒園式 小野小学校閉校式		日本サッカー協会「夢の教室」 演劇ワークショップに係る検証会議

4 教育委員活動のまとめ

教育委員会では、本市の教育理念『豊岡で育む「在りたい自分」と「在りたい未来」を創造する力～非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～』を示した第5次とよおか教育プランに基づき、一人一人の子どもが、自分らしく生きていけるためのウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に健康である状態）の向上を目指し、毎年度定める実践計画に掲げる具体的施策の取組を推進しました。

教育行政の効果的な推進に当たっては、市民や保護者の教育に対する理解と協力が必要不可欠であると考えています。そのため、市民に身近で開かれた教育委員会となるよう、城崎・日高地域で移動教育委員会会議を実施しました。移動教育委員会会議後に学習会を開催し、小・中学校長と意見交換しました。

また、教育委員会会議の審議結果や議事録などを公表するとともに、市の教育情報を掲載した「豊岡きょういく」を年3回発行し、教育情報の発信に努めました。

教育委員会会議での方針決定に保護者や教育現場の意見を反映させるため、学校園訪問、教育研修会等へ参加し、学校、家庭、地域の現状把握を行い、連携した教育活動の充実を図りました。

重要施策に位置付ける非認知能力向上対策事業について、市内全ての小学校1年生と2年生で演劇ワークショップを実施しました。体や言葉を使って、自分の考えや気持ちを表すことやそれらを受容される体験により、自己肯定感や集団の中で合意形成する力においてプラスの結果が出ています。

また、不登校児童生徒数は全国的に増加しており、本市においても教育の中心課題となっています。本市の不登校児童生徒数は、2025年度3月末時点で、2024年度の同時期と比べて約4.5%（9人）増加しています。「豊岡市不登校対策アクションプラン」に基づき、新たな不登校の未然防止のために先行的に行う取組と、学校へ登校しづらくなった児童生徒に対して自立を促すための取組を進めました。中でも、全ての小・中・義務教育学校内で子どもたちが安心できる居場所として設置している「校内サポートルーム」について、全中学校と義務教育学校・後期課程、小学校6校に支援員を配置し、支援を行っています。さらに、各校の実践を集積した実践事例集を作成し、全校に共有しています。このほか、豊岡市こども支援センター等の関係機関やフリースクール等民間施設との連携、本市が包括連携協定を締結した「ロートこどもみらい財団」が実施するプログラムへの参加呼びかけなど、多様な学びの場の提供にも努めました。

中学校部活動の地域移行（展開）・地域連携については、地域のスポーツ・文化団体、保護者、学校関係者の代表で構成する豊岡市部活動の在り方検討委員会において検討を進めました。

教育委員会では、「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」に沿って、子どもたちのよりよい学びの環境を確保するため、地域や保護者の皆さんと協議を進めています。

竹野地域では、豊岡市内で初めての義務教育学校「竹野学園」が4月に開校しました。グラウンドに低学年棟を増築する施設整備が完了した2026年1月からは、1年生から9年生までの児童生徒がそろって学校生活を送っています。

小坂小学校と小野小学校は、スクールバスの通学練習や交流事業「わくわくどきどきプロジェクト」を実施するなど、2026年4月の統合に向けた準備を進めてきました。3月28日には、小野小学校の閉校式と閉校記念行事を開催しました。

但東地域については、施設一体型小中一貫校への再編に向けた合意形成を図るべく、保護者や地域住民と協議を進めています。

八代小学校の小規模特認校制度については、2025年度の1名に続き、2026年度にも新たに1名の転入生を予定していますが、目標としている複式学級の解消には至っていません。これまでの取組を検証し、2027年度以降の制度継続について判断することとしています。

学校施設の長寿命化・大規模改修について、「豊岡市学校施設個別施設計画」に基づき、学校施設に求められる機能・性能の維持確保と、多様化する教育内容等に適合させるための環境改善を実施しています。

三江小学校の長寿命化改修工事については、予定していた財源である国の交付金の採択保留により、工事の着手が出来ず次年度に持ち越すこととなりました。

また、竹野学園の開校に併せて、竹野中学校の既存校舎の改修工事と、グラウンド部分に低学年棟を新たに整備する増築工事が2025年12月に完了しました。

小学校について、指定避難所となっている小学校の屋内運動場に、熱中症対策として空調設備（大型スポットエアコン）を整備することとし、2026年3月に5校の小学校で整備が完了しました。

就学前の教育・保育について、市内の公立・私立の全園において、第5次とよおか教育プランに基づき「生きる力の基礎」を育むため、「第2次スタンダード・カリキュラム」及び「活用の手引き」を活用した実践的な研修「まなびの公開保育」や、より実践に結びついた内容に工夫した経験年次別研修を継続的に進め、教育・保育の質の向上に努めました。

また、「第2次スタンダード・カリキュラム」の作成から5年が経過したことを踏まえ、現在の子どもの姿により合った内容となるよう「第2次スタンダード・カリキュラム」と「活用の手引き」の更新を行いました。

さらに、園と小学校の円滑な接続に向けて、2025年度から豊岡市全体で「豊岡市架け橋プログラム」の取組を始めました。これにより、各学校区の園と小学校が連携して接続カリキュラムの作成や相互参観、事前・事後研修が積極的に行われ、園と小学校のつながりが大きく前進しました。

以上のように、学校園を取り巻く環境は大きく変わってきており、地域の多様な声に耳を傾ける機会もさらに多くなり、教育委員の役割はますます重要なものであると認識しています。

豊岡市教育委員会では、一人一人の子どもが、自分らしく生きていけるためのウェルビーイングの向上を目指し、学校園・家庭・地域・行政が一体となって、基本理念の具現化に向けた実践活動に邁進していきます。

Ⅲ 教育委員会施策の 点検・評価

第5次とよおか教育プラン
2025年度実践計画
検証総括シート

第5次とよおか教育プラン 2025年度実践計画の検証について

1 実施方法

2025年度実践計画に定められている検証を実施する項目について、学校現場及び担当課による担当課検証のほか、検証委員会による委員検証を行うとともに、年度末において担当課年度末検証による最終検証を行った。

2 検証結果の示し方

検証結果は、2つの基本方針で定められた9つの基本的方向ごとに「検証総括シート」を作成し、各々で設定された指標及び施策・取組の検証、委員検証意見を取りまとめた。

また、委員検証結果及び次年度実践計画策定作業を踏まえ、年度末における最終検証を取りまとめた。

3 表記・記号の説明

(1) 指標項目について

ア 「■」印の指標項目

全国学力・学習状況調査（毎年4月20日頃実施・7月下旬結果公表）の結果の数値を使用。従って、実施年度の数値は前年度の取組が反映すると捉えられるが、実施年度の結果を目標値に対応させて評価することとする。

イ 「□」印の指標項目

全国学力・学習状況調査以外の全国調査や各担当課による独自調査、取組による結果の数値を使用。

(2) 指標数値について

ア 2024現状値

- ・原則は2024年度の実績値を表記するが、取組によっては前年度の実績値を表記する。この場合においては、当該年度を〔 〕で表記する。

イ 2025目標値

- ・2025年度に到達すべき目標値を設定する。

ウ 2025指標の実現状況

- ・原則は2025年度の実績値を表記するが、取組によっては前年度の実績値を表記するものがある。この場合は〔 〕内に当該年度を表記する。
- ・2025指標の実現状況のうち、（ ）内は2025目標差を、「○」印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

(3) 担当課検証及び検証委員会による検証結果の評価記号

教育委員会（担当課）検証（中間・年度末）	検証委員検証
S 目標達成・取組完了（目標達成、事業計画完了による取組終了）	○ 妥当
A 継続実施（拡充・現行方法による継続実施）	△ 疑義あり
B 改善実施（取組の改善・見直しによる継続実施）	— 評価不能
C 抜本の見直し（取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要）	※担当した検証委員3名の検証を記載する。
D 未取組廃止（効果・必要性等から取組を廃止）	

第5次とよおか教育プラン 2025年度実践計画 施策・取組一覧

● …2025年度検証を実施する重点項目

基本方針1 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進		担当課
基本的方向1 多様性の尊重と包摂性のある教育の推進		
施策① つながりのある特別支援教育		
1	1 関係機関との連携による支援体制の充実	学校教育課
2	2 豊岡市こども支援センターの機能の充実	こども支援課
3	● 3 スーパーバイザー支援事業の実施	こども支援課
4	● 4 学びの継続による、すべての教職員の専門性の向上	学校教育課
5	5 すくすく訪問による支援の充実	幼児育成課 こども未来課 こども支援課
施策② いじめ・不登校等への対応		
6	1 いじめの未然防止、早期発見・早期対応における組織的対応の充実	学校教育課
7	● 2 一人一人の多様なニーズに応じた不登校対策の推進	学校教育課
8	3 子どもの心を理解する強化月間、アセス等を活用した生徒指導の充実	学校教育課
施策③ 多様性・ジェンダー視点に立った教育の推進		
9	● 1 多様性・ジェンダーに関する教育(オリジナル絵本の活用等)	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
10	2 外国人市民との交流等による多文化共生教育	
11	3 日本語指導を必要とする児童生徒等への日本語教育の充実ととよおかこども多文化共生サポーターの拡充	学校教育課
基本的方向2 「確かな学力」の育成		
施策① 新しい時代に求められる資質・能力の育成		
12	● 1 非認知能力向上のための取組の推進	学校教育課
13	2 「主体的・対話的で深い学び」及び「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた授業改善(全国学力学習状況調査の分析と対応)	学校教育課
14	3 きめ細やかな指導の充実を図るための指導補助教員等の配置	学校教育課
施策② 身近な課題の解決・活用に向けた探究的な学び		
15	1 STEAMの視点を入れた探究的な学びの推進	学校教育課
施策③ 小中一貫教育を核とした一層の連携教育		
16	● 1 ローカル&グローバル学習の時間の充実	学校教育課
17	2 系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する学習指導と生活指導の充実	学校教育課
施策④ 幼児期から児童期への円滑な接続		
18	● 1 架け橋期のカリキュラムを活用した園小接続の実践	幼児育成課 学校教育課
基本的方向3 「豊かな心」の育成		
施策① 生命の尊厳を基盤とした人権教育		
19	1 今日的な人権課題に対応した人権教育の充実	学校教育課
20	2 家庭・地域・関係機関との連携した発達段階に応じた人権教育の推進	学校教育課
施策② 「対話」により考えを深める道徳教育		
21	1 体験的・実践的な活動を通じた道徳性の育成	学校教育課
施策③ 体系的・系統的なキャリア教育		
22	1 多様な体験活動の実施によるキャリア形成への支援	学校教育課
施策④ 子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動		
23	1 児童会・生徒会活動、リーダー研修会等の充実	学校教育課
24	2 福祉体験活動やボランティア活動など社会体験の機会の充実	学校教育課
25	3 一流の文化芸術に触れる機会や伝統文化等を鑑賞・体験する機会の充実	文化・スポーツ振興課
施策⑤ 読書活動の充実		
26	● 1 読書の習慣化と質の向上をめざした読書活動の推進	学校教育課 教育総務課
27	2 図書や調べ学習の手がかりとなる情報の提供	教育総務課

基本的方向4 「健やかな体」の育成		
施策① 望ましい生活習慣の形成を図る健康教育・食育		
28	● 1 規則正しい生活習慣(食事、運動、睡眠)の確立	学校教育課
29	2 教育活動全体を通しての食に関する指導の充実	学校教育課
30	3 地産地消の推進と安全・安心な学校給食の提供	教育総務課
施策② 体力・運動能力の向上		
31	● 1 豊岡市版小学校体育準備運動の共通実践と運動習慣の確立をめざした体育授業の充実	学校教育課
32	2 各種スポーツ教室やスポーツイベントの実施によるスポーツと接する機会の充実	文化・スポーツ振興課
基本的方向5 「生きる力の基礎」の育成		
施策① 健康な体をつくる力の育成		
33	● 1 幼児期における運動遊びの充実	幼児育成課
34	2 基本的な生活習慣の定着とその推進	幼児育成課
施策② 人と関わる力の育成		
35	● 1 遊びを通じた人と関わる経験の積み重ね	幼児育成課
36	2 英語遊び保育の充実	幼児育成課
施策③ 思いを伝える力の育成		
37	1 伝える力と聞く力の育成	幼児育成課
施策④ 自然や身近な環境に関わる力の育成		
38	● 1 自然や身近な環境に関わる経験の積み重ね	幼児育成課
施策⑤ 感性豊かに表現する力の育成		
39	1 表現する力の育成	幼児育成課

基本方針2 自分らしく安心して過ごせる学校園の創造と家庭・地域等との共創

基本的方向1 学校園・家庭・地域等の連携・協働の推進		
施策① 地域全体で子どもを育てる環境の充実		
40	1 子どもが参画する事業の推進(地域コミュニティ組織)	地域づくり課
41	2 子どもを支える各種ボランティア活動の充実	学校教育課 教育総務課
42	3 仕事と子育ての両立支援	幼児育成課 こども未来課
43	4 青少年健全育成活動の支援・推進	教育総務課
44	5 中学校部活動の地域展開等の推進	学校教育課 文化・スポーツ振興課
45	6 豊岡市こどもセンターを中心とした関係機関での連携	こども未来課 こども支援課
施策② 地域コミュニティ組織と連携した学びの推進		
46	● 1 コミュニティ・スクールを核とした地域学校協働活動の充実	学校教育課
47	2 地域で大人が子どもに教える事業推進(地域コミュニティ組織)	地域づくり課
48	3 学校と地域コミュニティ組織の連携事業実施	学校教育課 地域づくり課
施策③ 家庭の教育力向上のための支援		
49	1 家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立	学校教育課
50	2 子育てに関する相談の充実	こども未来課 こども支援課
51	3 PTAとの協働と活動支援	教育総務課
52	4 ブックスタートの推進	教育総務課
基本的方向2 安全・安心な教育の推進と教育環境の整備		
施策① 施設の計画的な改修とICT環境整備等教育環境の整備・充実		
53	1 学校園の長寿命化及び教育環境向上に向けた計画的な改修	教育施設課
54	● 2 ICT環境の整備	教育施設課
施策② 通学(園)手段の確保		
55	1 安全で安心できる通学環境の整備	学校教育課
56	2 路線バスがない地域でのスクールバス運行	学校教育課
施策③ 安全教育・防災教育の推進		
57	1 過去の災害を踏まえた防災・減災授業の実施	学校教育課
施策④ 学校園の再編		
58	● 1 「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」に基づく学校再編の推進	教育施設課
59	2 「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」の推進	教育施設課
施策⑤ 就学・修学支援		
60	1 就学援助費の支給	学校教育課
61	2 特別支援教育就学奨励費の支給	学校教育課
62	3 豊岡市奨学金、豊岡市交通遺児奨学金の運営	教育総務課
基本的方向3 教職員の資質・能力の向上		
施策① 教職員の資質と実践的指導力の向上		
63	● 1 教員の指導力の向上を図る校内研修等の充実	学校教育課
64	2 年次研修、担当者研修、その他各種研修の充実	学校教育課
65	3 就学前の教育・保育計画「第2次スタンダードカリキュラム」及び「手引き」を活用した就学前教育の充実	幼児育成課
施策② 園小接続の推進に向けた教職員研修		
66	1 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた園と小学校職員の相互理解	幼児育成課
施策③ 多様性に配慮した教育・保育の推進		
67	1 多様性・ジェンダーに関する研修(オリジナル絵本の活用方法等を含む)	多様性推進・ ジェンダーギャップ対策課
68	2 外国にルーツを持つ子どもの支援のための研修	
基本的方向4 学校園の組織力の強化		
施策① 学校園運営の効率化・組織化		
69	1 ICTの活用等、教員等の業務負担軽減に係る取組の推進	学校教育課
70	2 管理職、ミドルリーダーに係る各種研修	学校教育課
施策② 働きがいのある学校づくり		
71	● 1 学校園における働き方改革の推進	学校教育課
施策③ 教職員の健康管理		
72	1 年次休暇の取得促進、各種休暇制度の周知等、ワーク・ライフ・バランスの推進	学校教育課

第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

2025年度実践計画検証総括シート

基本方針1	予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進
基本的方向1	多様性の尊重と包摂性のある教育の推進
	<p>すべての子どもたちが自分らしく学ぶためには、発達特性や障害の有無、固定的な性別役割分担意識、外国にルーツを持つ子どもへの対応、言語的背景、貧困や家庭環境等、様々な事情・背景による多様な教育的ニーズに対して、一人一人の課題に応じた適切な対応が必要である。加えて、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)等の払拭が不可欠であり、それは学校のみならず社会全体で重視していくべきことである。</p> <p>そのためにも学校教育において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な取組が重要となる。</p> <p>その実現に向けて、①つながりのある特別支援教育、②いじめ・不登校等への対応、③多様性・ジェンダー視点に立った教育の推進に取り組む。</p>

〔指標の検証〕

指標名	2024現状値	2025目標値	2025指標の実現状況
<input checked="" type="checkbox"/> 学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合	小 88.5% 中 85.9%	小 89.8% 中 88.8%	小 88.6% (-1.2P) ○ 中 91.3% (+2.5P) ○
<input type="checkbox"/> いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小 96.7% 中 96.6%	小 100% 中 100%	小 98.5% (-1.5P) ○ 中 96.9% (-3.1P) ○
<input type="checkbox"/> 不登校児童生徒の割合	小[2023] 1.39% 【2023全国 2.16%】 中[2023] 6.23% 【2023全国 7.04%】	小 2024現状値以下 中 2024現状値以下	小[2024]1.83% (-0.44P) 中[2024]6.76% (-0.53P)
<input type="checkbox"/> オリジナル絵本「みらいへのつばさをひろげて」を教育・保育に活用した学校園の割合 園	—	園 100% 小 100% 中 100%	園 88.0% (-12.0P) 小 77.3% (-22.7P) 中 88.9% (-11.1P)

■・・・ 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・ 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2025指標の実現状況のうち、()内は対2025目標差を、○印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

担当課検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)			

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ① つながりのある特別支援教育	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
3 スーパーバイザー支援事業の実施	A	○	○	○	A	子ども支援課
4 学びの継続による、すべての教職員の専門性の向上	A	○	○	○	A	学校教育課

施策 ② いじめ・不登校等への対応	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
2 一人一人の多様なニーズに応じた不登校対策の推進	A	△	○	○	A	学校教育課

施策 ③ 多様性・ジェンダー視点に立った教育の推進	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 多様性・ジェンダーに関する教育(オリジナル絵本の活用等)	A	○	○	○	A	多様性推進・ ジェンダー ギャップ対策課

〔委員中間検証意見〕

〔担当課年度末検証〕

<p>施策①-3 全ての子どもにとって、わかりやすい授業づくりを行うことや、子どもに寄り添う方法の質を高めるためにも必要な施策であると考えている。</p>	<p>「支援の要らない子は一人もいない」の理念に基づき、スーパーバイザーの指導助言を参考にし、担任等によるアセスメントを丁寧に行い、子どもへの寄り添い方や授業の質の向上に向け継続実施していきます。</p>
<p>施策①-3.4 豊岡市以外の専門家からの学びも大切だと思ふ反面で、豊岡市内で多様な特性をもつ子どもたちに関わっている団体の現場での子どもたちの様子を聞くことで、豊岡市内で実際に起きていることを共有し、連携強化にもつながるのではないかと考える。</p> <p>今後の方向性に、市全体としての取組の方向性、市教委としての研修継続という施策が述べられているが、県立特別支援学校との連携の充実という点も組み込んだ方が良いのではないかと考える。</p>	<p>民間の事業所を含めた関係機関と協議や情報交換の場を持ち、子どもたちの実態や支援のあり方を多面的に理解するように努めています。</p> <p>また、県立特別支援学校のセンター的機能を活用し、要請のあった学校への講師派遣や研修会への招聘など、連携を図っています。</p> <p>引き続き、特別支援教育に関する教職員の専門性の向上に向け、計画的、継続的に研修を進めます。</p>
<p>施策②-2 9年間を見越した継続的、組織的な不登校対策は必要である。また、現場の先生方も望んでいると思うので、必要な施策であると考えている。</p> <p>子ども同士のやりとりの中には、顕在化しないことがたくさんあるはずなので、現場の方には、今のやり方を見直していただき、改善していただきたいと思います。</p>	<p>不登校等対策委員会や不登校担当者研修会を実施するとともに、各校の実践事例集を作成・配付し、取組の共有と改善を進めています。各校の実情に応じた取組の充実、新たな発想を大切に、「誰一人取り残さない」支援体制の構築に努めます。</p>
<p>施策③-1 個票の自己評価の理由の課題について、教育現場において、活用する方針が示されていたが、地域の中(図書館等)でも活用できればよいのではないかと考える。</p>	<p>地域の中での活用に向けて、図書館の本館・分館や、子育てセンターにも絵本を配布しています。より広く活用いただけるように、子どもたちとの対話のポイントや関連する教科や領域などを記載した「絵本活用の手引き」を広く周知して、子どもたちの発達段階に応じた活用や対話の促進に努めます。</p>

〔基本的方向における総括:担当課年度末検証〕

<p>様々な困難を抱える子どもの教育的ニーズに対応するために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な取組が重要となる。その実現に向けて、つながりのある特別支援教育、いじめ・不登校等への対応、多様性・ジェンダー視点に立った教育の推進に取り組む。さらに、就学前から卒業後まで切れ目なく一貫した支援が受けられるよう、関係機関と連携し、早期からの一貫した支援、教育相談、就学後の適切な教育に取り組んでいく。</p>

第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

2025年度実践計画検証総括シート

基本方針1	予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進
基本的方向2	「確かな学力」の育成
	子どもたちが、自分の良さを自覚するとともに、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら様々な課題を解決するためには、確かな学力が必要である。 その実現に向けて、①新しい時代に求められる資質・能力の育成、②身近な課題の解決・活用に向けた探求的な学び、③小中一貫教育を核とした一層の連携教育、④幼児期から児童期への円滑な接続に取り組む。

〔指標の検証〕

指標名	2024現状値	2025目標値	2025指標の実現状況
■ 「全国学力・学習状況調査」における正答率40%以下の児童生徒の割合	小国 12.5% 小算 18.2% 中国 30.2% 中算 32.5%	小国 6.9%以下 小算 15.1%以下 中国 21.5%以下 中算 30.4%以下	小国 9.5%(-2.6P)○ 小算 31.4%(-16.3P) 中国 25.5%(-4.0P)○ 中算 47.2%(-16.8P)
■ 国語、算数、数学の勉強が好きだと思っている児童生徒の割合	小国 63.4% 小算 61.7% 中国 57.3% 中算 55.0%	小国 67.0% 小算 66.0% 中国 69.3% 中算 62.2%	小国 61.9%(-5.1P) 小算 57.9%(-8.1P) 中国 54.1%(-15.2P) 中算 54.4%(-7.8P)
■ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合	小 89.6% 中 89.7%	小 91.3% 中 91.1%	小 90.6%(-0.7P)○ 中 88.4%(-2.7P)
■ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う児童生徒の割合 ㊦	小 88.0% 中 80.0%	小 88.7% 中 84.0%	小 84.9%(-3.8P) 中 79.0%(-5.0P)
■ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなど、の学習活動に取り組んでいる児童生徒の割合 ㊦	小 84.8% 中 86.5%	小 86.3% 中 87.2%	小 86.2%(-0.1P)○ 中 85.9%(-1.3P)
■ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合	小 87.0% 中 85.4%	小 88.5% 中 2024現状値以上	小 87.1%(-1.4P)○ 中 82.2%(-3.2P)

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2025指標の実現状況のうち、()内は対2025目標差を、○印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

担当課検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)			

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ① 新しい時代に求められる資質・能力の育成	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 非認知能力向上のための取組の推進	A	○	○	○	A	学校教育課

施策 ③ 小中一貫教育を核とした一層の連携教育	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 ローカル&グローバル学習の時間の充実	A	○	○	○	A	学校教育課

施策 ④ 幼児期から児童期への円滑な接続	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 架け橋期のカリキュラムを活用した園小接続の実践	A	○	○	○	A	幼児育成課 学校教育課

〔委員中間検証の意見〕

〔担当課年度末検証〕

<p>施策①-1 非認知能力と呼ばれるものが数多くある中で、「やりぬく力」、「自制心」、「協働性」の3つに絞らず、「自己肯定感」、「コミュニケーション能力」、「メタ認知」等、これまでの教育活動の中で培われてきたと思われるものを改めて検証し、意識して取り組んでいくのはどうか。</p>	<p>学校において高めることが期待できる非認知能力として、「やりぬく力」、「自制心」、「協働性」を掲げており、各学校においても、授業や学校行事にこれらの視点を取り入れた教育活動が展開されています。引き続き、成果と課題、改善等の子どもの教育活動につなげる取組を推進します。</p>
<p>施策①-1 演劇を通して、演じること・考えを出し合うこと・協力して作り上げていくことなどの経験ができ、非認知能力向上には効果的だと考える。また、教職員や保護者の参観の機会が増えたことで、みんなへの周知が出来てきたように感じるため、今後も継続して取り組んでもらいたい。</p>	<p>非認知能力の意義、価値については、いまや豊岡市の教育の共通言語として浸透しています。一方、目の前の一人一人の子どもに応じた関わり方は常にブラッシュアップしていく必要があります。引き続き、演劇ワークショップの授業参観、事後の振り返り研修会の実施や学校だより等の活用等、周知・啓発に努めます。</p>
<p>施策③-1 コミュニケーション能力育成と演劇的手法の関係を、子どもたちを取り巻く方々(職員、保護者、地域の方々)にもっと理解させるための取組が必要であると考えます。生徒にもしっかりと伝えられていなかったかもしれないと感じる。</p>	<p>教職員対象のコミュニケーション教育研修会の実施やオープンスクールや授業参観等で授業公開しています。引き続き、児童生徒、保護者・地域の方々に丁寧に周知・啓発していきます。</p>
<p>施策③-1 園では2週間に1度、英語遊びの巡回指導があり、楽しみながら英語に親しんでいる。1,2年生でも引き続き、楽しく英語遊びをすることによって、3年生からの英語学習にも意欲をもって取り組むことが出来るのではないかと思います。</p>	<p>園における「英語遊び保育」を小学校1・2年生での「英語遊び」へ円滑に接続し、就学前から中学校卒業までを、系統性と連続性のある学びとなるよう、今後も継続して取り組んでいきます。</p>
<p>施策④-1 今年度から、豊岡市全校、全園で共通の「架け橋プログラム」を作成することによって、園小の接続を例年以上に意識するようになったと感じる。1小学校対複数園における連携の課題はあるが、お互いに知り合うことが一番の連携だと思うので、相互参観、情報交流の機会をより充実していくことが大切だと考える。</p>	<p>全市小学校園でスタートした「架け橋プログラム」ですが、実施したアンケートでは、各学校園の状況や従来の連携の方法を活かしつつ、連携会議、相互参観等を通して相互理解や信頼関係づくりが図れたことを成果としてあげられていました。0歳からの学びを円滑に小学校以降につなげる重要性を実感したり、この取組の持続可能な方法や教育・保育に活かせるような形を見つけたりできるよう、教育委員会がコーディネートしながら協働し、この取組の充実を図ります。</p>

〔基本的方向における総括:担当課年度末検証〕

<p>子どもたちが、主体的に学習課題を設定し、個別に学んだりお互いの学びを高め合ったりする協働的な学びに加え、他教科との関連を図った教科等横断的な学習、探究的な学び等、子どもたちが主体となり、自分の良さや自己有用感などを自覚できる教育活動を充実していくことが重要である。</p> <p>様々な学びを通して、子どもたちに確かな学力(豊かな心、健やかな体)を育成していくことは、子どもたちの非認知能力の向上につながり、生きる力となっていく。引き続き、学校、家庭、地域で、様々な教育活動を非認知能力向上の視点で考え、子どもたちの学びを支える取組を推進する。</p>

第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

2025年度実践計画検証総括シート

基本方針1	予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進
基本的方向3	「豊かな心」の育成
	<p>子どもたち一人一人が自己実現に向けて、地域や社会、生活、人生をより豊かなものとしていくためには、発達段階に応じた体験活動を通じて、豊かな人間性や社会性を育成することが重要である。また、豊かな学びを身に付けるうえで必要となる、文化芸術やスポーツ・地域行事等を体験する機会を、学校園と家庭、地域、関係機関が連携し確保していくことが必要である。</p> <p>その実現に向けて、①生命の尊厳を基盤とした人権教育、②「対話」により考えを深める道徳教育、③体系的・系統的なキャリア教育、④子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動、⑤読書活動の充実に取り組む。</p>

〔指標の検証〕

指標名	2024現状値	2025目標値	2025指標の実現状況
■ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小 81.1% 中 63.1%	小 87.4% 中 71.3%	小 84.9% (-2.5P) ○ 中 65.4% (-5.9P) ○
■ 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小 87.9% 中 85.6%	小 89.1% 中 88.3%	小 87.3% (-1.8P) 中 86.4% (-1.9P) ○
□ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあると思う児童生徒の割合	小 95.8% 中 94.4%	小 96.4% 中 98.0%	小 96.5% (+0.1P) ○ 中 94.6% (-3.4P) ○
□ 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある児童生徒の割合	小 90.1% 中 91.8%	小 94.3% 中 96.0%	小 93.0% (-1.3P) ○ 中 91.5% (-4.5P)
□ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり30分以上読書をする児童生徒の割合(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)	小 30.0% 中 25.4%	小 42.3% 中 33.4%	小 30.6% (-11.7P) ○ 中 17.7% (-15.7P)

■・・・ 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・ 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2025指標の実現状況のうち、()内は対2025目標差を、○印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

担当課検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)	— 評価不能	
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
	D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)		

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ⑤ 読書活動の充実	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 読書の習慣化と質の向上をめざした読書活動の推進	A	○	○	○	A	学校教育課 教育総務課

〔委員中間検証の意見〕

〔担当課年度末検証〕

<p>施策⑤-1 読書活動を活発化させることの重要性和、読書活動を子どもたちに指導する教職員の指導力の向上を継続的に図る必要がある。</p>	<p>「読書活動の充実に係る研究」を市の指定研修として実施し、好事例等を市内各校に共有するなど、図書教育に係る教職員の指導力の向上に努めます。</p>
<p>施策⑤-1 中学校でもボランティア等による読み聞かせの活動があったりと、読書に導く工夫がされていると思う。しかし、日々の部活動や習い事に追われ、読書に向かう余裕があまりないように感じる。 教室や図書館に、短編集や新聞のコラムをまとめた本が置かれ、少しの時間で読めるなら、文章を読むことが身近に感じられると思う。</p>	<p>朝読書、読み聞かせ、「とよおか電子図書館」の利用を継続し、読書習慣の定着を図っていきます。また、読書習慣の定着に向けて、はばたきメッセージの配布等で家庭への啓発も行っていきます。今後も市立図書館と連携し、読書活動の充実に取り組めます。 「とよおか電子図書館」でも、読書へのきっかけ作りとなるよう手に取りやすいコンテンツ(短編集等)の充実に努めます。</p>

〔基本的方向における総括:担当課年度末検証〕

<p>子どもにとって読書は、感性を磨き、心に豊かさを与えるとともに、目の前の情報を吟味して考える「クリティカルシンキング」の素地を養うなど、欠くことのできないものである。子どもたちが読書を身近に感じるために、引き続き、学校、家庭、図書館との連携を大切にしながら、読書活動の習慣化を目指した取組を進めていく。 図書館においても、学校園への団体貸出・お話し会・ブックトーク等の読書活動の推進を継続して実施する。また「とよおか電子図書館」では、多様なジャンルの本や文章にふれる機会となるコンテンツを意識して整備していく。</p>

第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

2025年度実践計画検証総括シート

基本方針1	予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進
基本的方向4	「健やかな体」の育成
	子どもたちが、生涯にわたって心身ともに健康で豊かな生活を送るために、健康で安全な生活を送り、運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成することが重要である。 その実現に向けて、①望ましい生活習慣の形成を図る健康教育・食育、②体力・運動能力の向上に取り組む。

〔指標の検証〕

指標名	2024現状値	2025目標値	2025指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 新体力テストにおける小学校5年生と中学校2年生の体力合計点のT得点 <small>T得点…全国体力・運動能力調査結果における全国平均値(50)に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。</small>	小5男 50.9 小5女 51.0 中2男 49.8 中2女 49.9 (全国平均T得点50)	小5男 51.5以上 小5女 51.5以上 中2男 50.4以上 中2女 50.4以上	小5男 51.2%(-0.3P) 小5女 53.2%(+1.7P)○ 中2男 49.1%(-1.3P) 中2女 50.3%(-0.1)○
<input type="checkbox"/> 「運動やスポーツが好き」と回答した児童生徒の割合 ㊦	小5男 94.0% 小5女 85.9% 中2男 94.2% 中2女 76.5%	小5男 98.3% 小5女 91.2% 中2男 95.3% 中2女 81.8%	小5男 96.6%(-1.7P)○ 小5女 91.1%(-0.1P)○ 中2男 90.5%(-4.8P) 中2女 79.6%(-2.2P)○
<input checked="" type="checkbox"/> 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている児童生徒の割合 ㊦	小 81.1% 中 74.2%	小 83.0% 中 76.0%	2025全国学力・学習状況調査の質問から削除
<input type="checkbox"/> 学校給食において地場産物(市内産の野菜)を使用する割合	28.1%	30.0%	27.4%(-2.6P)

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2025指標の実現状況のうち、()内は対2025目標差を、○印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

担当課検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)			

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ① 望ましい生活習慣の形成を図る健康教育・食育	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 規則正しい生活習慣(食事、運動、睡眠)の確立	A	○	○	○	A	学校教育課

施策 ② 体力・運動能力の向上	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 豊岡市版小学校体育準備運動の共通実践と運動習慣の確立をめざした体育授業の充実	A	○	○	○	A	学校教育課

〔委員中間検証の意見〕

〔担当課年度末検証〕

<p>施策①-1 インプットの学びは、充実しつつあるようだが、さらに改善していくためには、児童生徒がアウトプットする場面があるとよいのではないかとと思われる。 また啓発活動に対する児童生徒の捉え方も気になると感じた。</p>	<p>今後も、学びを深めるために、児童生徒が規則正しい生活の意義を自分ごととして考えられるような授業や取組を進めていきます。</p>
<p>施策①-1 子育てセンターでも生活リズムや睡眠の大切さ、スマホによる脳への影響を事業等の中でテーマとして取り上げ、保護者に啓発している。乳幼児期から保護者に意識してもらうことは大切なことだと感じる。 管理栄養士による食育指導を受け、また食育だよりや保健だよりの定期的な発行により、子どもたちにとって望ましい生活習慣に関心を持ったり、家庭の意識づけになったりしている。食事・運動・睡眠は、生活リズムを整える鍵だと思ふことから、今後も更に定着するために、家庭と連携を密に一人一人に合った援助や保育を繰り返していくことが必要だと考える。</p>	<p>引き続き、各学校園の授業や学校園だより、小中一貫教育による各一貫ブロックの取組や、PTAや関係機関との連携を通して、規則正しい生活習慣の大切さについて継続的に啓発していきます。</p>
<p>施策②-1 小学校ごとに工夫しながら授業前の簡単な運動を取り入れている。椅子に座ったまま軽く体を動かすだけでも体がすっきりして、その後、話が入りやすいという効果を感じている子どもも多い。</p>	<p>効果的な取組については、市内での共有を検討します。</p>
<p>施策②-1 豊岡市版小学校体育準備運動は、十分に体を動かすために考えられており、子どもたちの活動量や基礎的な運動能力を維持するためにも必要な取組だと思ふ。また、幼児期からの全身運動が「あたまの力」と「こころの力」を育てる土台となると思ふことから、中学校へもこの継続した取組を連携する必要があると感じる。</p>	<p>引き続き、系統性、連続性を重視しながら、取組の質的向上を図っていきます。</p>
<p>施策②-1 今後の方向性に「体育授業」とあるが、「体育科授業」の方が良いのではないかと。</p>	<p>小学校では「体育科」、中学校では「保健体育科」と教科名が異なるため、表記について検討します。</p>

〔基本的方向における総括:担当課年度末検証〕

<p>今年度の新体力テストの合計点では、小5男女および中2女子で全国・県平均を上回った。中2男子については全国平均を下回ったが、県平均を上回った。「幼児期からの運動遊び」や「豊岡市版小学校体育準備運動」を継続して取り組んできたこと、学校における運動機会の確保等が、児童生徒の体力・運動能力の維持につながっていると考える。 これからも、系統性と連続性を重視したこれらの取組を進めるとともに、授業内容を工夫して運動する楽しさや喜びを味わわせること、各領域で十分な運動量を確保することに努めていく。また、学校行事や業間など教育活動全体でも、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる活動を継続的に取り入れていく。さらに、子どもたちが健康で安全な生活を送るために、家庭や関係機関と連携を図りながら、取組の充実を図っていく。</p>
--

第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

2025年度実践計画検証総括シート

基本方針1	予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進
基本的方向5	「生きる力の基礎」の育成
	乳幼児期において、生活や遊びといった直接的・具体的な体験を通じて、一体的に育みたい資質・能力の3つの柱「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」が育まれることが重要である。 その実現に向けて、①健康な体をつくる力の育成、②人と関わる力の育成、③思いを伝える力の育成、④自然や身近な環境に関わる力の育成、⑤感性豊かに表現する力の育成に取り組む。

〔指標の検証〕

指標名	2024現状値	2025目標値	2025指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 自ら体を動かして遊んでいる園児の割合 ㊦	—	80.0%	98.6%(+18.6P)
<input type="checkbox"/> 毎日朝食を食べている園児の割合	95.2%	97.4%	97.5%(+0.1P)○
<input type="checkbox"/> 自分の気持ちや考えていることを伝えている園児の割合 ㊦	—	80.0%	94.9%(+14.9P)
<input type="checkbox"/> 外で遊ぶことが好きな園児の割合 ㊦	—	80.0%	98.9%(+18.9P)
<input type="checkbox"/> 自分で工夫しながら夢中になって遊ぶことがある園児の割合 ㊦	—	80.0%	97.5%(+17.5P)
<input type="checkbox"/> 毎週1回以上、家庭で絵本の読み聞かせをしている家庭の割合	62.8%	67.1%	66.4%(−0.7P)○

■・・・ 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・ 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2025指標の実現状況のうち、()内は対2025目標差を、○印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

担当課検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)			

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ① 健康な体をつくる力の育成	中間検証			年度末検証	所管課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 幼児期における運動遊びの充実	A	○	○	○	A	幼児育成課

施策 ② 人と関わる力の育成	中間検証			年度末検証	所管課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 遊びを通した人と関わる経験の積み重ね	A	○	○	○	A	幼児育成課

施策 ④ 自然や身近な環境に関わる力の育成	中間検証			年度末検証	所管課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 自然や身近な環境に関わる経験の積み重ね	A	○	○	○	A	幼児育成課

〔委員中間検証の意見〕

〔担当課年度末検証〕

<p>施策①②④ 学校教育のみならず、地域教育として地域での取組を充実させることで、多様な参画者が増え、人と関わる・思いを伝える・感性を豊かにする等の効果がより得られるのではないかと考える。 例えば、地域の中のサークル活動や市民同士の学びの場がつけられていくと、多世代を巻き込み、お互いにより影響を与え合うコミュニティができるのではないかと感じた。</p>	<p>園においても地域の人との関わりは、社会性や協調性、思いやりの心を育む上で、とても大切なことだと考えています。また、地域の行事等への参加は、その経験が遊びや学びに繋がる良い機会になっていると感じます。今後も、様々な機会を捉えて、地域と一緒に子どもたちの成長を支えていけるよう、引き続き取組を行っていきます。</p>
<p>施策①-1 運動が苦手でも、遊びを通して、体を動かすことが好きになる方法を、保育者の私たちが意識して関わっていくことが大切だと思う。また、運動遊びの指導員の定期的な訪問指導に刺激を受けながら、今後も運動遊びを通して、自然に体を動かす遊びや活動を更に充実させていく取組を望む。</p>	<p>運動が苦手な子どもも遊びを通じて体を動かす楽しさを味わう経験を積み重ねていけるよう、指導員と園とが一緒になって取り組んでいくことが大切であると考えています。各園の巡回訪問等での運動遊びと日々の園で存分に体を動かす遊びとを合わせながら、全ての子どもたちが「体を動かすことが好き」になることを目指して、今後も園との情報共有や共通理解を図りながら、運動遊びの充実に努めていきます。</p>
<p>施策①-1 城崎地域では、こども園に移行してから、特に楽しく体を動かすことのできる時間が増えたと思う。</p>	<p>園で体を動かす時間が増えていることを感じていただき、大変嬉しく思います。このことを励みに子どもたちの心身の成長に繋がるよう、引き続き保護者等への啓発も工夫しながら運動遊びに取り組んでいきます。</p>
<p>施策②-1 遊びから学ぶこの時期に、様々な経験を重ねていくことで、人との関わり方を学んでいくと考える。様々な人と色々な場所で関わる機会を作り、思う存分遊ぶ経験を、日々積み重ねていくことにより、少しずつ蓄えられた心の財産が、非認知能力の根っことなり、生きる力に繋がると考えるため、今後も継続した取組を望む。 小中学生や地域の人と交流する機会が多く、とても良い取組だと思う。</p>	<p>子どもたちは遊びを通して様々な人と関わる中で、関わり方や相手の気持ちに気付くことなど、多くのことを学んでいます。小中学生の交流についても、憧れや「やってみたい」という意欲等を育む良い機会になっていると思います。今後も、地域や小中学生等、様々な人と関わる機会を大切にしながら、人と関わることの楽しさを味わったり大切に気付いたりできるよう取組を進めていきます。</p>

施策④-1

子どもたちは、遊びや生活の中で日常的に自然環境と関わっている。自然に触れて、感動する経験を通して、自然の変化等を感じ取り、好奇心や探求心を持って考え、言葉等で表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、環境に親しみや愛情を感じ、もっと関わりたいという思いが強くなっていくと思う。今後も子どもたちの姿を大切にしながら継続した取組を望む。

園児が自然の中に出掛けて活動する姿をよく見る。虫や植物など、個々の興味に寄り添った保育をされていると思う。

課題にあるように、今後ますます野生動物が出没するであろうことを考えると、職員の方々の臨機応変な対応が必要とされると思う。

自然と関わることは、子どもの感覚や好奇心を育てる上で、とても大切な体験だと考えています。今後も、自然や身近な環境に主体的に関われる環境を工夫しながら、子どもの興味・関心を大切に取り組んでいきます。また、野生動物の情報収集や対応策なども工夫しながら、引き続き豊かな自然と関わる体験が出来るよう努めていきます。

〔基本的方向における総括:担当課年度末検証〕

今年度、「第5次とよおか教育プラン」の施策と「第2次 スタンダード・カリキュラム」の育てたい力との整合性を図り、「生きる力の基礎」を育成するために、子どもたちに必要な力を焦点化し、教育・保育の実践に結びつきやすくした。今後も、子ども理解を深める研修を工夫しながら進め、子ども一人一人が主体的に「ひと・もの・こと」に関われる環境づくりと保育者の関わりを工夫し、子どもたちが存分に遊び込む中で「生きる力の基礎」の育成に努めていく。

第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

2025年度実践計画検証総括シート

基本方針2	自分らしく安心して過ごせる学校園の創造と家庭・地域等との共創
基本的方向1	学校園・家庭・地域等の連携・協働の推進
	<p>子どもたちが自分らしく過ごし、豊かに学んでいくためには、学校園・家庭・地域が連携・協働し、地域社会全体で子どもの成長を支えていくという意識づくりが重要である。</p> <p>家庭は、日常生活におけるしつけや感性、情操を育む等すべての教育の出発点である。</p> <p>学校園は、子どもたち一人一人が「在りたい自分」を創造するために大変重要な役割を担う。</p> <p>学校園・関係機関は、子どもにとって望ましい基本的生活習慣や学習習慣を身に付けられるよう家庭と連携した取組を進め、不安を抱える保護者の相談・支援に取り組む必要がある。</p> <p>また、地域においては旧小学校区を基本に地域コミュニティ組織があり、子どもへの地域への愛着の醸成や地域行事への参加を促すような取組等、保護者や地域住民の教育活動への参画を学校とともに促進していくことが求められる。加えて、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の実効的な活用を推進していくことが重要である。</p> <p>その実現に向けて、①地域全体で子どもを育てる環境の充実、②地域コミュニティ組織と連携した学びの支援、③家庭の教育力向上のための支援に取り組む。</p>

〔指標の検証〕

指標名	2024現状値	2025目標値	2025指標の実現状況
<input checked="" type="checkbox"/> 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある児童生徒の割合 ■ ■	小 93.5% 中 90.7%	小 96.7% 中 94.8%	小 95.4% (-1.3P)○ 中 94.3% (-0.5P)○
<input type="checkbox"/> 今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合 □	小 88.0% 中 68.0%	小 88.7% 中 84.0%	小 90.0% (+1.3P)○ 中 73.6% (-10.4P)○
<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校や地域や保護者の相互理解が深まったと思う学校の割合 ■ ■	小 31.8% 中 11.1%	小 41.7% 中 33.6%	小 31.8% (-9.9P) 中 44.4% (+10.8P)○
<input type="checkbox"/> PTCAあいさつ強化月間の取組参加者数 □	5月 5,114人 11月 5,263人	2024現状値以上	5月 4,778人(-336人) 11月 4,536人(-727人)
<input type="checkbox"/> 保育園・認定こども園待機児童数 □	2人 [2024.9.1現在]	0人	0人(±0人)○ [2025.9.1現在]
<input type="checkbox"/> 放課後児童クラブ待機児童数 □	2人 [2024.9.1現在]	0人	5人(+5人) [2025.9.1現在]

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2025指標の実現状況のうち、()内は対2025目標差を、○印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

担当課検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)			

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ② 地域コミュニティと連携した学びの支援	中間検証			年度末検証	所管課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 コミュニティ・スクールを核とした地域学校協働活動の充実	A	△	○	○	A	学校教育課

〔委員中間検証の意見〕

〔担当課年度末検証〕

<p>施策②-1 コミュニティ・スクールを起点として、地域の人々が担える役割をどんどん見出していることを伺い、とても可能性のある取組だと感じた。ただ、それについての情報発信の主なものが教育委員会だよりであることを聞き、もう少し市民に近い存在の媒体で発信されるとよいのではないかと感じた(コミュニティセンターや喫茶店にチラシを置く等)。</p> <p>地域の人と子どもが顔見知りになることで、子どもや学校の様子がよく見えるようになった。もともと、祭りや行事が多い地域であるので、地域と子どもがつながりやすく、自然な流れで取り組んでいる。地域の方に様々なことを経験させてもらう中で、子どもにとって、良い影響があるように感じた。</p> <p>コミュニティ・スクールのことについて、学校からの情報発信力を強化していかなければいけない。</p>	<p>現状の取組を継続し、子どもたちの居場所づくり、子どもたちが地域の伝統行事に触れる機会の充実のほか、学校が抱える課題解決のためにアイデアを出し合い、地域とともにある学校づくりをさらに進めていきます。</p> <p>ご意見をいただいた市教委や学校から地域への周知や情報発信について、内容や方法の工夫・改善を図っていきます。</p>
--	--

〔基本的方向における総括:担当課年度末検証〕

<p>学校運営協議会において、めざす子どもの姿や学校の課題を共有することで、地域全体で学校教育活動や子どもたちの成長を支えようという意識が少しずつ広まってきた。今後、地域全体で子どもを育てる環境づくり、家庭の教育力向上のための支援を充実させることが必要である。</p>
--

第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

2025年度実践計画検証総括シート

基本方針2	自分らしく安心して過ごせる学校園の創造と家庭・地域等との共創
基本的方向2	安全・安心な教育の推進と教育環境の整備
	<p>子どもたちが安全・安心で快適な学校園生活を送ることができるよう、安全で質の高い教育環境の整備・充実や、安全教育・防災教育の推進を図ることが必要である。また、急激な少子化の進行による課題に対応するため、学校園の適正規模・適正配置を推進することも重要である。加えて、すべての子どもたちが未来に希望をもち、家庭の経済事情によって「学び」が止まることのないようにすることも大切である。</p> <p>その実現に向けて、①施設の計画的な改修とICT環境整備等教育環境の整備・充実、②通学(園)手段の確保、③安全教育・防災教育の推進、④学校園の再編、⑤就学・修学支援に取り組む。</p>

〔指標の検証〕

指標名	2024現状値	2025目標値	2025指標の実現状況
<input type="checkbox"/> 小学校体育館空調設備整備 ※義務教育学校含む ㊦	0校/22校	6校/22校 【小21校・義務1校】	6校/22校(±0校)○ 【小21校・義務1校】
<input type="checkbox"/> 児童生徒用トイレの洋式化 ㊦	洋式化率 44.0%	洋式化率 46.7%	洋式化率 46.7%(±0P)○

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2025指標の実現状況のうち、()内は対2025目標差を、○印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

担当課検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)			

〔施策と取組の自己検証〕

施策① 施設の計画的な改修とICT環境整備等教育環境の整備・充実	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
2 ICT環境の整備	A	○	○	○	A	教育施設課

施策④ 学校園の再編	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」に基づく学校再編の推進	B	○	○	○	B	教育施設課

〔委員中間検証の意見〕

〔担当課年度末検証〕

<p>施策①-2 更新されるソフトへの対応と同時に、日々多様化していく生徒や保護者の情報モラルの育成にも、一層取り組んでいくべきだと思う。</p>	<p>今後も、情報モラルに関する教職員研修の充実を図るとともに、生徒への指導や保護者との連携をさらに推進していきます。</p>
<p>施策④-1 合意形成に向け、今後も丁寧な取組を継続していただきたいと思う。(統合が無理に進んだ場合、子どもが被害者になる。)</p>	<p>但東地域の学校再編については、反対地域の保護者等と何度も意見交換を重ね、合意形成に向けた協議が進みつつある状況です。計画よりも遅れる見込みだが、引き続き丁寧に対応していきます。</p>
<p>施策④-1 児童の数が減少している中、学校再編は子どもの教育環境を整えるということで、非常に重要な政策であると考えます。 学校の存在は、地域の活力という意味で大きな役割があると思うが、学校に通う児童の教育環境を重要視して、検討を進めるべきものと考えます。</p>	<p>学校再編については、2026年度で前期計画が終了し、2027年度から後期計画がスタートします。前期計画は概ね計画どおり進捗していますが、後期計画の対象地域との合意形成状況や地域からの新たな要望等を踏まえ、計画策定時の想定を上回る少子化の進行等、近況を反映したものに時点修正を行います。これにより、後期計画の再編時期をより明確にし、適切な時期に関係地域との協議を進めていきます。</p>

〔基本的方向における総括:担当課年度末検証〕

<p>施設の計画的な改修とICT環境整備等教育環境の整備・充実については、財政上の課題が多い中、計画どおり進んでいる。 また学校園の再編については、一部計画から遅れている状況である。地域住民や保護者の方に対し、丁寧に対応して理解をしていただきながら進めて行くことを前提としているため、対応の内容によりスケジュールが左右される現状がある。スケジュール管理の観点から、より頻繁にスケジュール管理の検証をすること等が必要と思われる。</p>

第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

2025年度実践計画検証総括シート

基本方針2	自分らしく安心して過ごせる学校園の創造と家庭・地域等との共創
基本的方向3	教職員の資質・能力の向上
	<p>新しい時代に求められる資質・能力の育成や子どもたちの多様な学びを実現していくためにも、教職員の資質・能力の向上は必要である。教育環境が複雑化・多様化している中、教育に対する強い情熱・専門家としての確かな力量・豊かな人間性を備えた人材の確保・育成、学校園の接続を意識した日々の授業改善を軸とする系統的・組織的な研修体制の構築・推進は重要である。</p> <p>その実現に向けて、①教職員の資質と実践的指導力の向上、②園小接続の推進に向けた教職員研修、③多様性に配慮した教育・保育の推進に取り組む。</p>

[指標の検証]

指標名	2024現状値	2025目標値	2025指標の実現状況
<input checked="" type="checkbox"/> 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合	小 93.9% 中 93.4%	小 94.9% 中 95.4%	小 96.3% (+1.4P) ○ 中 94.6% (-0.8P) ○
<input checked="" type="checkbox"/> 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童生徒の割合 <input checked="" type="checkbox"/>	小 71.0% 中 69.0%	小 72.1% 中 72.5%	小 72.9% (+0.8P) ○ 中 75.7% (+3.2P) ○
<input type="checkbox"/> 授業中に学習に対する児童生徒の興味・関心を高めるために、コンピューターや提示装置を活用して資料などを効果的に提示できる教職員の割合	小[2023]93.1% 中[2023]87.3%	小 95.0% 中 90.4%	小[2024]95.6% (+0.6P) ○ 中[2024]92.6% (+2.2P) ○

■・・・ 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・ 各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2025指標の実現状況のうち、()内は対2025目標差を、○印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

担当課検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本的見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)			

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ① 教職員の資質と実践的指導力の向上	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 教員の指導力の向上を図る校内研修等の充実	A	○	○	○	A	学校教育課

〔委員中間検証の意見〕

〔担当課年度末検証〕

<p>施策①-1 校内研修の充実や教職員の資質・能力の向上のため、学校園等支援事業は、今後も必要であると思う。また、それぞれの各学校園にはそれぞれの特徴や特色が異なるため、校内・園内研修の相互参加も効果的であると思う。</p>	<p>多様性の包摂の観点からも、様々な教育課題に対応していく知見等の習得は必須であります。各校が教育課題に向けて学識者を招聘して取り組む研究や研鑽への支援を継続します。また、各校の学びを、中学校区、さらには市内各校に広げる工夫を推進します。</p>
<p>施策①-1 教職員の不祥事が非常に多く、世間の目も厳しい。また、子どもたちの様子も少しずつ変化してきているので、現代の学校に即した教育活動を教職員ができるためにも、研修の充実は不可避であり、研修内容の精選も行っていかなければならないと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、現代の学校に即した教育活動を推進するためにも、引き続き、学校や先生方のニーズに対応した研修を計画し、推進します。</p>

〔基本的方向における総括：担当課年度末検証〕

<p>一人一人の子どもたちに寄り添った教育を展開するためにも、教職員は、絶えず教育方法や指導方法を研修していく必要がある。「大人の学びは、子どもの学びの相似形」の言葉通り、主体的かつ目的が明確である研修体制の構築が大切である。今後も、教職員一人一人の資質能力と学校全体の組織力を向上させ、教職員が一丸となって迅速、かつ的確に対応する体制の強化に努める。</p>
--

第5次とよおか教育プラン(豊岡市教育振興基本計画)

2025年度実践計画検証総括シート

基本方針2	自分らしく安心して過ごせる学校園の創造と家庭・地域等との共創
基本的方向4	学校園の組織力の強化
	<p>一人一人の子どもに寄り添った教育の実現や複雑化・困難化する教育課題に適切に対応していくためには、教職員が心身ともに健康で最大限に能力を発揮できる環境整備が必要である。管理職のマネジメントのもと、教職員一人一人の力を組織的かつ機動的に生かした協働体制づくりや業務の効率化、健康の保持・増進等を含めた働きがいのある学校づくりを推進し、子どもたちの学びを充実させることが重要である。</p> <p>その実現に向けて、①学校園運営の効率化・組織化、②働きがいのある学校づくり、③教職員の健康管理に取り組む。</p>

[指標の検証]

指標名	2024現状値	2025目標値	2025指標の実現状況
<p>■ 学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいる学校の割合 圏</p>	<p>小 81.8%</p> <p>中 88.9%</p>	<p>小 2024現状値以上</p> <p>中 2024現状値以上</p>	<p>小 86.4% (+4.6P) ○</p> <p>中 77.8% (-11.1P)</p>

■・・・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙を用いて評価を行う指標。

□・・・各所管課の事業や独自調査などの結果により評価を行う指標。

※ 全国学力・学習状況調査

国・公・私立学校の小学6年生と中学3年生を対象に実施する、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査。(4月実施、7月結果公表)

※ 2025指標の実現状況のうち、()内は対2025目標差を、○印は2024現状値よりも改善した指標を表す。

担当課検証 (取組の継続等)	S 目標達成・取組完了 (目標達成、事業計画完了による取組終了)	検証委員検証 (担当課評価の 妥当性)	○ 妥当
	A 継続実施 (拡充・現行方法による継続実施)		△ 疑義あり
	B 改善実施 (取組の改善・見直しによる継続実施)		— 評価不能
	C 抜本の見直し (取組を継続する場合は抜本的な見直しが必要)		
D 取組廃止 (効果・必要性等から取組を廃止)			

〔施策と取組の自己検証〕

施策 ② 働きがいのある学校づくり	中間検証			年度末検証	担当課	
	担当課	検証委員会				
		委員A	委員B			委員C
1 学校園における働き方改革の推進	A	○	○	○	A	学校教育課

〔委員中間検証の意見〕

〔担当課年度末検証〕

<p>施策②-1 学校における働き方改革の推進において、関係者それぞれがそれぞれの立場から学校園における働き方改革につなげる、とある。この方向で進めるためには、学校運営協議会での合意形成が鍵を握ると考えるので、今後の方向性に、学校運営協議会を活用して、具体的な取組を進める等の文言を入れた方が良いのではないかと。</p>	<p>学校における働き方改革の推進については、保護者、地域住民等との連携が欠かせないことから、学校に対して、学校運営協議会の活用(協議)を依頼しているところです。ご意見については参考に検討します。</p>
<p>施策②-1 働き方改革について、各校での意識は高まっており、細かな取組の積み上げの成果は出てきていると思う。中学校でいえば、やはり「部活の地域展開」の定着化が超過勤務時間の短縮に大きく左右することになると思う。この項にも組み入れていただき、市全体の取組へと拡大していただきたいと思う。</p>	<p>ご意見を参考に検討します。</p>
<p>施策②-1 働き方改革の本当の意味、目的を今一度理解する必要がある。教師としての存在意義や、充実感、やりがいを持っているか、そういったことが子どもたちとの向き合い方にも影響してくる。中身のある働き方改革を目指していたら良いと思う。</p>	<p>勤務時間の縮減のみにとどまらず、教職員向け各種研修内容の見直しや充実による教職員の資質向上を目指していくことが重要であると考えています。</p>

〔基本的方向における総括:担当課年度末検証〕

<p>管理職のマネジメントと関係者それぞれの協力・参画により、引き続き、業務の効率化、教職員の健康の保持・増進等を含めた働きがいのある学校づくりを推進し、子どもたちの学びの充実を図る。</p>
--

IV 外部有識者の総評

1 2025年度教育委員会活動について

(1) 総括意見

教育委員会の点検・評価は、効果的な教育行政を推進するため、また市民に対する説明責任を果たすために行われる。このため、この点検・評価に基づいて今後の教育行政施策の改善や見直し、教育環境の整備や充実に努めることが求められる。

2025年度の教育委員会活動について、教育委員会会議の定例会が12回、臨時会が2回の計14回開催された。その中で56件の議案審議および37件の報告・協議がなされた。審議案件と報告案件の一覧とを概観したところ、特に問題は見受けられない。

教育委員会会議以外の活動状況について、市長と教育委員会とで構成する総合教育会議が計2回開催されている。また、豊岡市では、市民に身近で開かれた教育委員会を目指し、「移動教育委員会会議」とその後の学習会を開催し、教育委員会会議の審議結果や議事録・会議資料の公表、そして教育情報の発信のために「豊岡きょういく」を年に3回発行するなど、市民の教育参画の機会提供や教育情報の公開に努めている。これら取組は高く評価できるものであり、今後とも「地域最適の教育」を目指すためにも、市民への情報公開を通じた開かれた教育行政の推進を願う。

豊岡市では2025年2月に「第5次とよおか教育プラン」（計画期間：2025年度から2029年度）を策定した。今後は「第5次とよおか教育プラン」に基づく教育施策を年度ごとの実践計画において、着実に進めることが肝要である。同時に、年度ごとの点検・評価結果に基づく成果検証によって、柔軟かつ適切な改善を繰り返しながら、「第5次とよおか教育プラン」の達成に向けて、より効果的な教育施策を推進することが求められる。

(2) 豊岡市の教育に求められるもの

豊岡市では、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）の育成を掲げている。これは、2017年改訂の学習指導要領で強調された育成を目指す資質・能力のうち、とくに「学びに向かう力・人間性等」と通底するものであり、これからの時代を生きる子どもたちに欠かせない力である。2025年度は、市内すべての小学校1年生および2年生へ「演劇ワークショップ」の取組が実施されている。今後も様々な活動を通して、子どもたちに非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）が培われることを強く願う。

このような力を育成するためには、義務教育9か年で子どもを育てる、という考え方が求められる。豊岡市は県下においても、早期から「豊岡こうのとりのプラン」による小中一貫教育に取り組んできた。小中一貫教育は、義務教育の質を高める取組である。そのカギは、小学校教育と中学校教育それぞれの強みを生かしながら、子どもたちの育ちを支援する点にある。竹野地域において、2025年4月7日に竹野学園の開

校、2025年12月には低学年棟が竣工して、翌1月からは1年生から9年生までが一つの学校で学んでいる。また、但東地域においても、施設一体型の併設型小中一貫校についての構想があると聞く。竹野学園の取組を中心に、市内他地区の小中一貫教育にとっての最適な方策を導出すべく、成果検証を進めてほしい。

一方で、子どもの学びや育ちは学校だけで達成されるものではない。家庭や地域との連携が今後ますます重要となる。地域とともにある学校とするための「コミュニティ・スクール」が市内公立の全小中義務教育学校に導入されている。2017年改訂の学習指導要領で謳われる「社会に開かれた教育課程」および「カリキュラム・マネジメント」の実現に「コミュニティ・スクール」は必要不可欠である。豊岡らしい地域とともにある学校づくりのためにも、これまでのモデル校の成果検証で得た知見や全国的にも優れた事例の情報を収集し、教育委員会による適切な情報提供を各学校に行うことが必要である。同時に、2024年6月に策定された「豊岡市社会教育基本計画」に基づく社会教育との連携によって、「社会に開かれた教育課程」で謳われるような学校教育と社会教育との相乗効果が生まれるよう、豊岡市の教育全般の質の向上に向けた取組を推進してほしい。

2 2025年度教育施策の取組について

(1) 成果があった取組について

『『確かな学力』の育成』について、2025指標の実現状況に鑑みれば、目標値には到達がかなわなかったものも見受けられるが、2024現状値と比較して改善した指標を確認することができるので、教育委員会の取組と学校の取組とが効果的であったと考えることができる。『『全国学力・学習状況調査』における、正答率40%以下の児童生徒の割合』は小中ともに改善傾向がみられた。一方で算数・数学については、これからの改善に期待したい。

「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童生徒の割合」について、これは児童生徒が、自ら考えることができる、話し合いを通して、自分の考えを深め、広げたりすることができる、と実感できているかを確認する項目で、それは児童生徒が主体的に学ぶことができているかどうか、ということである。このため「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善が求められる。こうした取組は一朝一夕で達成できるものではないが、昨年度と比べて小学校では改善の結果が見えた。中学校でもじっくりと取り組んでほしい。

『『豊かな心』の育成』に関しては、2025指標の実現状況において、「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあると思う児童生徒の割合」について、目標の達成に至らなかった項目もあるものの、2024年度よりも改善が図られていた。豊岡市が育成を目指す非認知能力の一つであり、また学習を進めるうえで、基盤となる力でもある。今後もこうした取組が継続されることに期待したい。

『『健やかな体』の育成』において、『『運動やスポーツが好き』と回答した児童生徒の割合』について、中2男子を除いて2024 現状値からの改善が見られた。「好き」は活動や行動の源であるから、今後も子どもたちが体を動かすことに積極的になることができるような取組を継続してほしい。

「教職員の資質・能力の向上」について、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合」、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童生徒の割合」のすべての項目で2024 年度からの改善が見られ、また2025 目標値もほとんどの項目で達成していた。これらは、いずれも教職員と児童生徒が良好な関係にあることを示している。この関係性は、すべての教育活動の基盤となるものなので、これからも児童生徒理解とそれに対する適切な対応が続けられることを願う。

(2) 改善や見直しが必要な取組について

「多様性の尊重と包摂性のある教育の推進」について、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合」に関し、2024 現状値と比して改善が見られるものの、2025 目標値には及ばなかった。「いじめは絶対に許されない」ということを実現できる取組を期待したい。

『『確かな学力』の育成』について、「国語、算数、数学の勉強が好きだと思っている児童生徒の割合」については、2024 現状値もよりも減少傾向にあり、改善が求められる。「好き」という意識は学習意欲にも影響するので、学校では引き続き児童生徒が興味関心を持つことのできる授業づくり、教育委員会はそのための支援に努めてほしい。「全国学力・学習状況調査」は、子どもたちの現状を把握するものであり、決して優劣を決めるものではない。子どもたちが学びの充実を実感できるような取組が必要であるし、また教職員がそのような取組に専念できるような環境整備をお願いしたい。

「学校園の組織力の強化」について、「学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいる学校の割合」が2024 現状値に比して、小学校では目標値を上回ったもの、中学校においては目標値を下回るものとなった。近年の教育改革で求められる取組は学校の組織的な対応や教員の協働性を前提としている。このため原因を究明し、この点についての改善が図られることに期待したい。

(3) 今後の教育施策の取組について

2025 年度は、新しい学習指導要領が全面実施となって小学校では6年目、中学校では5年目となる。学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を基盤として、「カリキュラム・マネジメント」と「主体的・対話的で深い学び」という教育内容と教育方法の両輪の改革をもって、子どもたちの生きる力やその理念を具体化した資

質・能力の3つの柱の育成を目指す。今後もこうした学習指導要領の理念を踏まえ、そのうえで、豊岡市の教育がこれまでに大切にしてきたこと、これから大切にすることの質を高めるべく、施策を展開することが望まれる。そのためには、「とよおか教育プラン」のもつ長期的な展望と、各年度の「実践計画」の短期的で具体的な方策とを照らし合わせることが、何よりも求められる。また2024年12月に、次期学習指導要領の改訂作業が始まり、2025年9月にて論点整理が示された。今後は、国の動向にも注視することも重要である。

先にも触れたが、豊岡市は、「社会教育基本計画」を作成し、社会教育の充実に努めている。今次改訂の学習指導要領に示された「社会に開かれた教育課程」、「カリキュラム・マネジメント」は学校教育を学校内に閉じず、学校の外との関係性も重視している。今後は「とよおか教育プラン」と「社会教育基本計画」のもつ趣旨をそれぞれ尊重し、関連づけた取組を構想し推進することが求められるだろう。これまでの伝統的な教育観（不易）と新しい教育観（流行）とをすり合わせ、これからの時代を生きる子どもたちに相応しい教育を、豊岡という「地元の文脈」に即した形で構想していただくことを願う。

2026年度

教育委員会の点検・評価報告書

(2025年度事業分)

発行 2026年6月

編集 豊岡市教育委員会 教育総務課

〒668-8666

兵庫県豊岡市中央町2番4号

豊岡市役所本庁舎6階

TEL 0796-23-1117

FAX 0796-24-4669